源氏拔書 并歌口傳

壷

一 きりつぼ

いとけなき人の心ばせ

更衣 衣あまたさぶらひ給ふ

御 殿 殿ことのきこえあり

さきだちてまゐり給ひ

あり所あらくあらく

御 おもとびとなどもいと

めざましきものにおとしめ

送り物

御 おぼしたる

御 おぼしたる

らい所 越前ニ

君三ヶ月ばかりにて

源氏ぬし

おとこ

かきりとて

わかれ道の

さいはひ

そのまゝ

更衣一人

母 このうへ

わかれ

ゆ

ほ

ほ

ほ

あさちの山にすまひしに
人のくるまあり一くるまとく
せめいそぐ紙に書んあてまんさ
なるゆゑのことはいかに唐の
玄宗皇帝楊貴妃に別れ思の
あまりに方士と云人あて蓬莱
宮と云せめて楊貴妃に逢て
まつ〻まんさうせんにあひき給ひ
かりやうれいに仰なは
我世とさりあるよしゆゑとか
なつまいうと因合なれとも
もまいあるまいと秋見とそいたの
んさうと沉りはいうんさい
世ておらも地獄に生せうこゑあらす
とりはこまつ〻きふりとて君と
我と七月七日に長生殿1してき
めとせし時天にあひ比目
地にあひ連理のねとなんと
かうしまきもと君と我とは
まとおもせ地ありきれいさい
地にはりこしまきあらす
あるせてはあ形なれ男誉
うきさめあ形なれ又きり
つ〻ん〻ん〻ん〻
文殊菩の京
小萩のうちはひそやかに風吹て
あさ代ねのうれしき
小萩のうちはいそやかに風吹て

あるときに、ねのうちより
小蔵のうちに、いきの人、
ゆくへしらずなりぬ。
いふかしてありとき、
松のゆくへ事、高砂の
古事あり。

○小笠原

右馬頭といふ人の女房
地獄をとれば、
きりとゆくとき、
ひさしくあり。
てたゆいとこれ、
くくてゆいとこ
ゐるゐるのこと
といきもてく

○をりくあひ事とりて
思いこれ、やはり君の
ゆきこ、女房
こが君のてとゆる
の通ゐる女房あり
いかんとまちゐき
ゐくとくんやはりくあれ夜
とやうやうあのきをせんさ
菊さくり咲ゐ
しあやしく思ひ
笛とくこと吉
琴とひきの可
ゐてとゆ、

○武蔵国のの宿をう
ひきまるきんとひき
本くに吹あ
いまくしむへきこと
に北いゐる人の通
ゐくゐ女房のもと

いまのうちにしへきこえ
ぬ世にいとをしう通
ゆかしうれしやとさう
もいとをしいまいう
さうにのうるまねきゆ
ひうの海をせといふ
あまの釣をして海にあ
ひうまいをこのうまいう
いさしうき女房姫君とりす二条
なりのめ所なりもつくおぼせと
小方あたりのれむすめとあまさへ女
のれ姉妹つ妹ひ
ありとくうるへもまうせ
そはゆしいをせめ
山川の宿いなりとゆりくあれを
けとうそこれひとうにくいみあり
人をおのくに所こうれく紀の国
中納言をせめひくいく祖母てからに
あうら氏訪るいうすうせのおとうん
これ母いれ角くゆうのとうとうふ
北方の姫君むろとりに事なりせ
とそこの寄じまのうれものとゆりて
寄琴の音風寄弓部のさうての寄い
源氏の地いこさせ所ひく折ついこうり
居所河面の芝ふさうれのまり
面白の地語りとうしその音こ
のみうそこ所けて送り給へ
ゆん源氏の居の方へ絵合の
もくへせて當もものけ絵
う寄い他も出りあいさうるもと
そこゆきれつきありきけ内
のすとはいまゆんめて亭主女房と
十ト
まくじすれ十五五ゆと碁とうて

のすとかいまるんめりて亭主女房と
十トシ まゝしすれ十四五ヨリ碁とうちて
カハタ 有りまして まゝとさして大ゆいとうち
サミソ こうれうとかりへるとあるくいまこ
キヨウ とうをき祝てかゝるふんさ居れ伊与風
けしにくしうあるこ きといちめてはい

いよ代の湯桁いくいつとうかうもの
よりまする居れ居るんとこ古方ろ
母い京輝の上まゝしすれ彩々の萩とか
ものへしとゝめい西の四方とゝきいよ代の
ゆけくい湯のもんれ本ものゝおいきへい
れ代い居ゝて湯ゝ瑞のゝく基慶この
うい世この上代ゝ代居と源氏ゝ
らうゝくあゝうゝへのうちゝけれ
いあるといるゝまゝあおりゝさゝ
いと使としてある屋ゝへ入ゝれ
られ同いと雪と屋の湯ゝれ
やしあるきゝそあゝ代ゝ祝ゝ
いゝゝこゝあゝく

帯木代ゝゝもきてゝう代ゝあや
ゝまゝらあるゝ京ゝ蜻のくゝ
ゝあるとゝ代ゝのゝうさし
有ゝあるときゆゝ帯木ゝやゝし後あい
ゝゝい

ゝ代ゝや京屋ゝ代ゝゝゝゝゝゝ屋
とゝゝ代あゝゝゝゝゝ古新あり

○并京輝

さゝゝゝ代ゝゝ源氏伊与ゝゝ入
ゝくゝ京蜻のゝゝれゝさゝゝゝ例のゝく
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

梅のもとにうゑたるを見給ふ

○三 若紫（ぎゃう瘧病）

源氏十七にて童やまひ（山）にまかりてまうでたまへり

重くなりぬとて

せのひかるをみつけ給へる

いまはむかしの内侍の尼君雀子

とにかくにとて法師ばらあまたまつ

立出て懐きて内へ入給へ

給ふ源氏ゆかしくおぼしめ

めり僧都出てまうでたまへり

うちとけぬ

さて国にくだりて

庭へ入給へ

神にてをり給ふ

咲まちとる

うちとけぬ

奥山の宮の戸

人あるものを

出まくしたる

の庭のそこにて

しい若紫

犬公

共にひろめて

雀子

なまちとる

りなりし友つれ

ませ

しらくさすこ

めつしたりの

そとうれまは

きこいきのゆ

第のゆりの

ものいはせ

雀子

源氏

雀子

源氏

雀子

紫の上

雀子

雀子

雀子

かこいきゆへとさてはいかなる
事のゆゑ侍ん源氏はんつけめてとそんを
さあんへいかきれこうのいつとて神こくあまつ
とゝしてそりてんめてしかるべきこと
めいへいさしくるこうしようとめつい
山ざくらの一本ゆへいとしさしの業はんか
うあつれとそれ中といふ古言あり
若宮こ夜ひといふのあるさてあれのぬい
あしれ中あ所源氏をかはきてへみを
付添くすつひとものとれいかくとてもい
ぬへいはさくのよ口中くくもつうは泣くこうの
くうとよゝてのこのあるんいあるん
平中のやしまるうけんさいめうとのの
うれへいとゑしのあまの平中成言と云女
姫あり女に中ゝんてんとゝ
とよゝ言ゝ成言ゝ女にて碓氷峠の目
もうこ水のうをて入てとく日本に習てみあり
花のうをくくあるくあるうれて世尾
ゝ成ゝ言ゝ成言ゝ
祇これ所ゝき姿と人をとんとり
もそつくるものけきこれのゝゝすまあり
ゝ成言ゝ成言ゝ

○并すゝひ花　破水詞のあり
源氏すゝひ花とかんれるふるさの
かゝこきあこさゝんゝんこうちきこゝゝ成言ゝ
あゝくひいつきのくきしゝ花の安の
ゝ所ゝ所ゝ所ゝ
ゝ所ゝ所ゝ

○所ゝ所ゝ名ゝ所ゝ　太極の家姫色
所ゝ所ゝ神ゝ所ゝ
ゝれるおの一ゝ所ゝ
ゝゝゝ

[illegible]

○四紅葉賀

源氏方つゝ[illegible]1思[illegible]

1人[illegible]

[illegible]

[illegible]

出家なりとかきつけたる文をそのかたはらに
扇をそえたりけるを雅通
のぬしとおもひてとりてみれば
こゝろ世にやすらはぬ海人の
屋をとゝのへてとよさとの
宮ちかくなりぬるかな
いつれとも海の原
かぜつゝふかしもしらぬ
なみのうへかな
しかるに源氏いとゝもの
ゆかしく思ひ人の
扇をとりて
絵をかきつけたる
扇をとりかへ
給へとのたまへば
源氏
扇をとりかへ
給へとのたまへば
源氏
扇をとりかへ
給へとのたまへば
源氏

[illegible]宮こおりすの時に見しかと
源氏とてとてもせばくて高晴の御みこ
見ゆるもせめてはいとあはれとおもふ
[illegible]ありしかうの人とおもふ山ぶしうと
ふかおもてにいるやしろをもとめて
あつまの別いうて落ちさこゝ世すて
ちあ煙のそらの風にうちなびき
きぬのあらはしかくれ
高うしかくれ

大ぐ[illegible]の別しなくこそ
[illegible]源氏殿門前の文ゆん
[illegible]の[illegible]世のてに深くれど
[illegible]思くしてせめて
かくく今後と[illegible]
[illegible]一とうすりとのゆ
[illegible]別うあるとの
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]きつて世いかくてすくせとや
[illegible]のあくへきはすれとものく

八花蘇芳

[illegible]麗景殿のいりと
[illegible]てれこうて入給ふ
[illegible]源氏
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

○九須磨　須磨の山茅ふかく[illegible]　行平

源氏の大将おはしまして月見給ふ三月ばかり

中に播磨国須磨の浦[illegible]三月ばかり

[illegible]ふる雨の上すめる海のてのごとくなる

[illegible]源氏かくこゝにはと海ゝ[illegible]

[illegible]

かいもくてさすがにあはれと君あり[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

清れとへいこんなのさいはんそくホの
当ゼ人心ゼ右衛門尉ゼ
とゝて沖ゝまゝ
ゝ
ゝ

むろまちあそんやまもりの[illegible]
神もうけとりんあり伊勢に息一の姫
門ゞ入道の家者つかはしたりしかうこの
しまとこに源氏のゐるをし冷泉院と
きあり[illegible]の流のくれるこ
[illegible]てとゝかうおいて一ときの
てゆゝ節ゝれるふしき

十二 繪合

はゝ門ゝ絵をぬまもりのいけるし絵合あり
角とて梅つゝて弘徽殿とのゝ[illegible]
のきくこと大和唐土の絵をくらべ[illegible]
らうこ勝つかんしさらうと源氏殿ア
四石の三年ゝ殿のあり[illegible]
と出かゝら梅つゝの女御[illegible]
はゝ上ゝ[illegible]今まてゝ[illegible]
中[illegible]

[illegible]
[illegible]
角きゆとのゝ[illegible]
[illegible]
[illegible]

十三 松風

源氏ゝ上の時ゝ明れゝうのくまゝ[illegible]
上京ゝ上ゝ時ゝ父[illegible]ゝ母屋
[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

大的うきをもて

[illegible]

[illegible]

[illegible]